

# 品川区環境基本計画【概要版】

2023（令和5）年3月 中間見直し（改訂）



2018（平成30）年度～2027（令和9）年度

# 1 計画改訂の趣旨

区では、2018（平成30）年度に「品川区環境基本計画」（以下「本計画」といいます）を策定しました。近年、地球温暖化の進行によるゲリラ豪雨や大型台風等の気候変動の影響の顕在化、生物多様性の損失など、環境課題は大きく変動し、多様化しています。本計画の中間年を迎えるにあたり、長期的な視点で、最新の環境課題および区の現状を踏まえながら、実効性のある計画となるよう中間見直しを行うこととしました。

本計画において、**区の二酸化炭素排出量を2030（令和12）年度までに2013（平成25）年度比で50%削減（カーボンハーフ）、2050（令和32）年度までに実質ゼロ（ゼロカーボン）**とする目標を掲げます。

# 2 計画の位置づけ

本計画は、区的环境をより良くし、将来の世代にその環境を引き継いでいくことができるよう、環境の保全に関する目標、施策の方向、その他必要な事項について定めるものです。

区全体の計画である「品川区長期基本計画」と整合を図りつつ、「品川区まちづくりマスタープラン」、「品川区水とみどりの基本計画・行動計画」、「品川区一般廃棄物処理基本計画」等の個別計画と相互に連携を図ります。

# 3 計画期間

本計画の期間は、2018（平成30）年度から2027（令和9）年度であり、2023（令和5）年度以降の5年間についての中間見直しとします。

基本目標1（地球温暖化対策分野）および基本目標3（自然環境分野）については、計画期間を超えた長期的な取組が必要であることから、基本目標1の計画期間を2030（令和12）年度まで、基本目標3の計画期間を2031（令和13）年度までとします。

# 4 計画改訂の視点

計画の進捗状況および環境を取りまく動向を踏まえて、以下の視点で改訂します。

番号	分野	改訂の視点
1	基本目標1 (地球温暖化対策分野)	✓ エネルギー利用の削減 ✓ 脱炭素エネルギー（再生可能エネルギー、水素エネルギー等）へのシフト ✓ 気候変動への適応
2	基本目標2 (資源循環分野)	✓ ごみ減量・資源化の推進 ✓ 食品ロス対策・プラスチックごみ対策 ✓ サステナブルファッション
3	基本目標3 (自然環境分野)	✓ 都市整備に伴う生き物の生息・生育環境の変化 ✓ 品川らしい水とみどりの保全・創出と次世代への継承 ✓ 生物多様性の理解の向上
4	基本目標4 (生活環境分野)	✓ 良好な生活環境の保全
5	基本目標5 (文化環境分野)	✓ 品川らしい景観の維持
6	共通目標 (環境教育・環境コミュニケーション分野)	✓ 身近な環境課題に取り組む人づくり ✓ 区民・事業者・関連団体との協働

## 基本目標 1




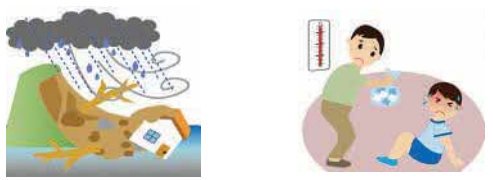
品川区地球温暖化対策実行計画  
品川区地域気候変動適応計画

## 「脱炭素な暮らし・仕事・まち」を実現する (地球温暖化対策)

快適で健康な生活につながる、積極的な地球温暖化対策の定着を目指します。



### ■ 施策の方向性

<p><b>1-1 エネルギー利用をさらに削減する</b></p> <p>省エネルギー行動のさらなる定着と、家庭や事業所、区有施設における省エネルギー型設備等への積極的な転換に取り組みます。</p> 	<p><b>1-2 革新的な技術導入により再生可能エネルギー利用を拡大する</b></p> <p>太陽光発電の導入促進のほか、区域外からの再生エネ導入を推進します。水素・アンモニアなど新たなエネルギー利用を推進します。</p> 
<p><b>1-3 脱炭素なまちづくりを推進する</b></p> <p>公共交通機関の利便性向上、新たなモビリティの基盤整備など、脱炭素なまちづくりに取り組みます。</p> 	<p><b>1-4 気候変動に適応する取組を推進する</b></p> <p>気温上昇による熱中症の発生や台風の大型化等、気候変動に適応しながら、健康で快適な暮らしを維持する取組を推進します。</p> 

## 基本目標 2

## 「持続可能な循環型都市」を実現する (資源循環)

ごみの発生抑制に努め、ごみの減量化と資源化に取り組んでいきます。



### ■ 施策の方向性

<p><b>2-1 ごみの発生抑制を推進する</b></p> <p>ごみ減量の意識啓発や再使用の推進などにより、ごみの発生抑制に取り組みます。</p> 	<p><b>2-2 資源リサイクルを推進する</b></p> <p>資源ごみについては、分別が徹底されリサイクルされるように取り組みます。</p> 
<p><b>2-3 適正処理を推進する</b></p> <p>どうしても発生するごみについては、適正な処理、効率的な回収がされることで環境負荷が少なくなるよう推進します。</p> 	

## 基本目標 3

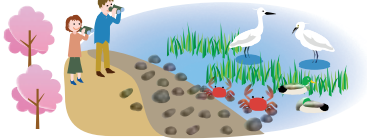

品川区生物多様性地域戦略

## 「水とみどりがつなぐまち」を実現する (自然環境)

水とみどりを守り、育み、活かすことで、魅力あふれるまちを目指す  
とともに、生物多様性の保全を推進します。



### ■ 施策の方向性

<b>3-1</b> 水とみどりを守り育てる 都市型水害への備えとしての機能だけでなく、生物生息空間としても水とみどりを保全・再生します。区施設の設置や運営においても生物多様性に配慮します。 	<b>3-2</b> 水とみどりが身近にある豊かな暮らしをつくる 区民・事業者・区の連携により、豊かな暮らしにつながる身近な水とみどりの整備を進めるとともに、有効な活用を図っていきます。 
<b>3-3</b> 品川らしい水とみどりを継承しまちづくりに活かす 区の歴史を伝えるみどり、区を特徴づける水とみどりを保存・活用し、魅力向上に取り組みます。	<b>3-4</b> みんなで水とみどりを育む さまざまな活動や体験を通じて、水とみどりの大切さを共有し、守り育てていく機運を高めます。
<b>3-5</b> 生態系の保全と再生 生き物の生息空間の保全・再生のため指標となる生き物をモニタリングします。 外来生物調査や都と連携した防除など、外来生物による被害防止に取り組みます。 	


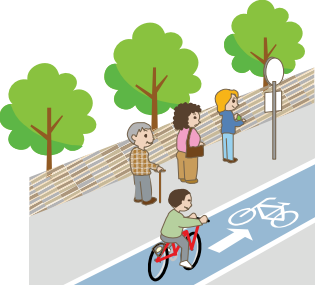
## 基本目標 4

## 「すこやかで快適な暮らし」を実現する (生活環境)

生活環境の維持・向上のため、大気汚染や悪臭、騒音等の環境負荷を低減し、全ての人々が心安らかに暮らせる地域づくりに取り組みます。



### ■ 施策の方向性

<b>4-1</b> すこやかな暮らしを守る 生活環境の維持・向上のため、大気汚染や悪臭、騒音等の環境負荷を低減し、全ての人々が心安らかに暮らせる地域づくりに取り組みます。 	<b>4-2</b> 人にやさしい地域づくりを目指す 年齢・性別・国籍や障害の有無等に関わらず皆さんの人が使いやすいユニバーサルデザインの導入、公共交通の充実や、歩行者・自転車に配慮した地域づくりを進めます。 
--	--

## 基本目標 5

## 「やすらぎとにぎわいの都市景観」を形成する (文化環境)

区の歴史的な位置づけや受け継がれてきた伝統への理解を深め、区民が「大切」と思うことができる魅力あるまちなみの保全と創出に取り組みます。



### ■ 施策の方向性

#### 5-1 歴史や文化を大切にし、魅力あるまちなみをつくる

地域の文化や歴史と調和したまちなみを保全・創出します。

区の歴史的な位置づけや受け継がれてきた伝統への理解を深め、区民が「大切」と思うことができる魅力あるまちなみの保全と創出に取り組みます。



## 共通目標

## 次世代につながる「日常的に実践する人」を育てる (環境教育・環境コミュニケーション)

2022（令和 4）年 5 月にオープンした品川区立環境学習交流施設「エコルとごし」では、環境教育および環境コミュニケーションのためのさまざまな設備・機能を有しており、施設を活用したさまざまな取組を展開します。



### ■ 施策の方向性

#### 共通-1 環境情報を発信する

区のホームページ等を含め、各種媒体を通じて情報を効果的に発信し、年齢や国籍、使用言語の違いに合わせた啓発を行っていきます。また、環境活動推進会議や環境保全活動顕彰を通じて、区民・事業者・区が情報を共有し、取組への意欲向上を図ります。



#### 共通-2 環境学習・体験を推進する

区民・事業者・区の連携により、学校におけるイベントや、環境教育等の体験学習の場の充実を図ります。



#### 共通-3 協働により環境活動を推進する

環境活動を行う事業者・団体等への支援や情報の共有を図るとともに、周辺自治体・交流提携自治体等との連携を推進し、協働による取組を進めます。



# みんなで取り組む“重点プロジェクト”

特に重点的かつ分野横断的な展開を図る必要のある主要なテーマを「重点プロジェクト」として位置づけ、推進します。

## 重点プロジェクト1 快適な脱炭素型ライフスタイルへの転換プロジェクト

二酸化炭素の排出要因であるエネルギー利用の約75%を占める家庭や事業所について、省エネルギーなどのライフスタイルの転換に重点的に取り組みます。

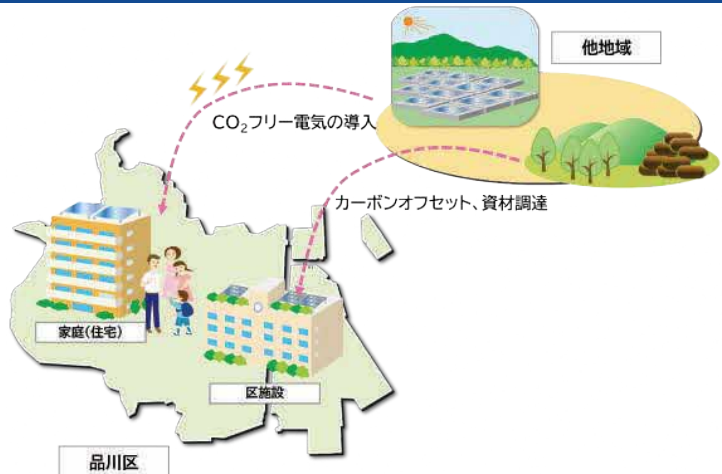
- ① あらゆる「賢い選択」を推進
- ① 区内建築物のZEB、ZEH化の水平展開
- ① 太陽光発電の普及拡大



## 重点プロジェクト2 さまざまな連携による地域全体の脱炭素化の推進

都市化が進んだ品川区の特徴を踏まえ、まちづくりと一体となった取組や、事業者やほかの地域との連携も視野に入れ、脱炭素化を推進します。

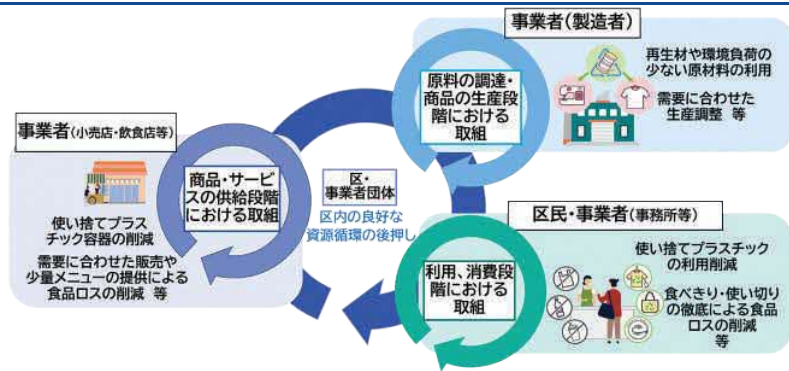
- ① ほかの地域と連携した横断的な取組の推進
- ① 環境面と経済面の統合的な向上を図る事業やサービスの推進



## 重点プロジェクト3 プラスチックごみ対策・食品ロス削減の推進

プラスチックごみについて、事業者との連携や、区のプラスチック分別回収も視野に入れながら、使い捨てプラスチックごみの削減およびプラスチック資源の循環利用に取り組めます。

食品ロスについては、飲食店や小売店と連携し、啓発による食品ロスの削減に取り組めます。



- ① 製品プラスチックを含めたプラスチック分別回収の検討
- ① 使い捨てプラスチックごみ削減の啓発
- ① SHINAGAWA“もったいない”プロジェクト

## 重点プロジェクト4 水とみどりを活かしたつながりづくり

区の特徴である水辺・みどりを活かし、生き物の生息・生育区間の保全と、都市整備と一体となった新たな生息・生育空間の保全と創出を推進します。

また、区民や事業者身近な自然にふれあう機会を設けることにより生物多様性の理解の浸透を図ります。



- ① まちづくりと一体となったみどり環境の保全と創出
- ① 水辺の生き物の生息・生育空間の保全と創出
- ① 生物多様性の理解促進

## 重点プロジェクト5 次世代を担う人材への学びの機会の充実

区民・事業者の主体的な実践行動につなげるため、年代や立場を問わず、これまで環境保全に積極的ではなかった区民・事業者が気軽に参加できる環境を整え、取組の裾野を広げます。

- ① エコルとごしを活用した学びの機会の充実

## 品川区立環境学習交流施設「エコルとごし」

自然豊かで歴史ある戸越公園内に品川区立環境学習交流施設「エコルとごし」が2022(令和4)年5月にオープンしました。

環境について楽しく学べるよう、わたしたちの暮らしと自然環境との関わりを疑似体験できる映像展示や、「みる・きく・さわる」といった体感を重視した常設展示を備えているほか、多彩なイベント・講座などを開催しています。



エコルとごし



環境を身近に楽しく学べる  
体験型の環境学習展示



自然とふれあいながら環境情報に  
触れるコミュニティラウンジ

## 区民・事業者ができる行動

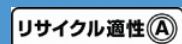
将来像である「みんなで創り育てる環境都市しながわ」を実現するためには、皆さん一人ひとりの行動が不可欠です。

再生可能エネルギー由来の電力へ切り替える	低公害車を導入する	再エネ機器や省エネ機器を導入する
<p>太陽光発電 風力発電 水力発電 再生可能エネルギー</p> <p>電力会社 家庭</p>		<p>太陽光発電 マイグリッドコントローラ</p> <p>太陽光発電 蓄電池 マイグリッドコントローラ</p>
適切に分別を行い、リサイクルにつなげる	使い捨てプラスチックごみの削減に努める	食品ロスをなくす
	<p>マイバック マイボトル</p>	<p>CHECK</p> <p>残さない</p>
屋上等の緑化に努める	飼っている外来種を逃がさない、捨てない	イベントや講座に参加し、環境について学ぶ

品川区環境基本計画の全文は  
区ホームページでご確認いただけます。



[ 発行元 ] 品川区 都市環境部 環境課  
〒140-8715 品川区広町 2-1-36  
TEL:03-5742-6749 FAX:03-5742-6853



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。  
古紙パルプ配合率 60%  
再生紙を使用しています